

第6章 自然と調和する住みよいまち 第2節 市街地整備

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)			
			会計	投入コスト		活動実績(R1)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)		
市街地整備課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	R1年度に改善した点	8. 働きがいも経済成長も			
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	1,198,759千円	1,134,648千円		再開発事業の進捗状況 ①東町再開発 施設建築物の建築工事及び 工事監理に対する補助金等を 交付し、再開発組合に助言・ 支援等を行う。 ②骨格道路…権利者交渉	再開発事業の進捗状況 施設建築物建築工事及び公共施設(道路)整備 工事の進捗状況を指標とする。	R1年度に改善した点							
	根拠法令	都市計画法、土地区画整理法、都市再開発法、 所沢市街づくり条例等	R1予算現額	R1決算額(見込み)				H30年度目標	H30実績					R1目標値が未達成の理由・分析	
	事業の具体的な内容及び目的	1,985千円	233,647千円		実績			施設建築物建築工事 着工	施設建築物建築工事 着工					事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
	東町及び日吉町の一部を区域とする日東地区について、所沢駅近接の商業地という地区の特性を踏まえ、民間活力により都市基盤の整備と街区の再編を一体的に図る事業を支援・誘導するとともに、安全で快適な都市環境への改善及び計画的な土地利用を誘導する街づくりを進めるものである。	H30正規職員 人件費	H30その他職員 従事割合		R元年度目標			R1実績	現在行われている施設建築物建築工事の完成時期は令和3年11月であるが、働き方改革等の影響により完成時期の遅延が懸念される。						
	期間	H17~	15,503千円	0.00人				施設建築物11階層体 建ち上がりまで完成	施設建築物11階層体 建ち上がりまで完成					また、今後行われる公共施設整備(道路)工事についても多岐にわたる関係機関・部署との十分な協議や調整が必要となる。	
	R1正規職員 人件費	R1その他職員 従事割合	1,985千円	0.00人				施設建築物29階層体 建ち上がりまで完成						どのように貢献したか	
	15,377千円	0.00人	①東町再開発 R1.6 事業計画(第2回)変更 認可 R2.3 施設建築物11階層体 建ち上がり完成 ②骨格道路 権利者と交渉を行った		目標達成済			所沢東町地区市街地再開発 事業の施行に伴い整備 する都市計画道路の歩道 状況を活用し、商業や文 化の振興を進める。							
	15,377千円	0.00人													
	15,377千円	0.00人													
15,377千円	0.00人														
市街地整備課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	R1年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を			
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	1,937千円	1,877千円		①権利者交渉 ②用地取得	ファルマン通り交差点改良整備に向けた進捗状況	R1年度に改善した点							
	根拠法令	都市計画法、道路法、所沢市街づくり条例等	R1予算現額	R1決算額(見込み)				H30年度目標	H30実績					事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
	事業の具体的な内容及び目的	0.40人	0.00人		実績			用地取得(2件)	用地取得(1件)					令和2年度に用地取得を予定している権利者については、現在、夫婦で呉服店を営んでいる。二人とも高齢であることから今後、お店を移転して続けていくか、お店を止めてしまおうか、迷われている状況である。今後も引き続き用地取得に向けて、より丁寧な交渉を行っていく必要がある。	
	広域避難場所である所沢航空記念公園へ向かう重要な中継地点であるファルマン通り交差点は、交通渋滞や安全性の面で多くの課題を抱えている。所沢東町地区第一種市街地再開発事業で整備する都市計画道路中央通り線(東久米所沢線区間)の整備時期に合わせて、交差点改良の整備を行い、交差点処理能力と安全性の向上を図るものである。	R元年度目標	R1実績	目標達成済				どのように貢献したか							
	期間	H26~R4	3,352千円	0.00人				用地取得(2件)	用地取得(2件)					ファルマン通り交差点の改良により交通の安全性が向上し、道路交通事故等の発生が減少する。	
	0.65人	0.00人	①土地鑑定評価の時点修正及び物件調査の再算の結果に基づき、権利者との交渉を進めた。 ②用地取得契約2件を締結(土地開発公社対応)・平成30年度公社取得用地1件を買戻し		目標達成済										
	5,403千円	0.00人													
	5,403千円	0.00人													
	5,403千円	0.00人													
5,403千円	0.00人														
市街地整備課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	R1年度に改善した点	8. 働きがいも経済成長も			
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	0千円	2千円		①所沢駅周辺まちづくり連絡協議会の開催 ② ③	所沢駅周辺まちづくりに係る重点事業の進捗状況や歩行者ネットワークの形成等について、協議会を開催し、協議・調整を行うものであることから、協議会の開催回数を指標とする。	R1年度に改善した点							
	根拠法令	5千円	0千円		H30年度目標			H30実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み						
	事業の具体的な内容及び目的	0.05人	0.00人		実績			1回開催	1回開催					所沢駅周辺まちづくりの重点事業に対して、今後も引き続き協議・調整を行うものである。令和元年度は所沢駅周辺まちづくり連絡協議会の開催が無く、目標値は未達成であったが、令和2年度は、事業の進捗状況に合わせて開催する。また、商業部会(商業観光課が事務局)により対応するものである。	
	所沢駅周辺まちづくり推進調整事業	419千円	0.00人		R元年度目標			R1実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み						
	1回開催	開催なし	目標達成済		どのように貢献したか										
	0.04人	0.00人	①なし		協議会の開催が無かったため。										
	332千円	0.00人	② ③												
	332千円	0.00人													
	332千円	0.00人													
332千円	0.00人														

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			投入コスト		活動実績(R1)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)		
狭山ヶ丘 区画整理 事務所	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	事業完了までの長期にわたる事業計画に基づき、事業を施行しているため。	R1年度に改善した点	1.1. 住み続けられるまちづくりを			
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	794,068千円	205,492千円	①土地区画整理事業の進捗状況	土地区画整理事業の進捗により、良好な住宅地が整備された面積	本事業の目的として、都市基盤整備、宅地整備による良好な住宅街地の整備を行うことから、土地区画整理事業全体の整備状況(進捗状況)を目標値とした。				令和元年度の事業として、地権者の仮換地指定に伴う、画地確定測量委託の発注をはじめ、土地区画整理審議会を開催し、審議会の答申を得て、地権者3名が所有する3画地・508㎡の仮換地指定を行った。				
	根拠法令	土地区画整理法、都市計画法、所沢都市計画事業狭山ヶ丘土地区画整理事業施行に関する条例	R1予算現額	R1決算額(見込み)	②		R1目標値が未達成の理由・分析				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み			どのように貢献したか	
	事業の具体的な内容及び目的	住環境の改善を図るため、道路、公園施設等の公共施設を計画的に整備し、良好な住宅地を供給するとともに、災害に強い街づくりの形成を図ることを目的としている。事業地内の地権者から減歩により土地を拠出していただき、その土地を公共用地(道路、公園等)及び保留地に充てる。保留地については売却し、その売却収益を事業費に充当し、事業資金とする。その他の事業資金については、国庫補助金、起債、市費(繰入金)等により事業費を確保し事業を推進する。事業完了後は、道路59,729㎡(20.1%)、公園等10,005㎡(3.4%)で全体の公共用地は69,734㎡(23.5%)となる。また、立体的交差道路(アンダーパス)の整備により、鉄道により分断されている事業区域の一体化を図る。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	③		R1目標値が未達成の理由・分析				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み			どのように貢献したか	
	狭山ヶ丘土地区画整理事業		4.00人	非常勤特別職	0.00人	実績	H30年度目標	H30実績			R1目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
			33,520千円	臨時職員	0.00人		R元年度目標	R1実績			事業について理解が得られない地権者の仮換地が未指定であるため。			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
	期間	S62~R3	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①仮換地指定率96.4%	30ha	30ha	29ha			事業について理解が得られない地権者の仮換地が未指定であるため。			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
			4.00人	非常勤特別職	0.00人	②	R2年度目標							事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
			33,248千円	臨時職員	0.00人	③	30ha							事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
														事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
都市計画課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	市街化区域編入に合わせた地区計画策定が必要であった若松町地区は、地元で丁寧な説明を行ったこと地区計画を策定することができた。	R1年度に改善した点	1.1. 住み続けられるまちづくりを			
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	1,028千円	1,020千円	①地区計画届出件数	地区計画等の策定地区数(街づくり協定による地区を含む)	地区の特性を活かした街づくりが進むこととなるため、住民発意や区画整理等の市の施策により地区計画等が策定された地区数を指標とする。				令和2年度の新規地区計画策定予定はないが、令和3年度以降は三ヶ島工業団地地区、フラワーヒル地区などの地区計画指定に向けた取り組みを進める。				
	根拠法令	都市計画法、所沢市街づくり条例、所沢市街づくりアドバイザー派遣等に関する要綱	R1予算現額	R1決算額(見込み)	②新規の地区計画等策定地区		R1目標値が未達成の理由・分析				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み			どのように貢献したか	
	事業の具体的な内容及び目的	事業の具体的な内容及び目的	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	③地区計画制度等の説明会や出前講座等の実施開催日数		R1目標値が未達成の理由・分析				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み			どのように貢献したか	
	地区計画推進事業		1.56人	非常勤特別職	実績	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み			どのように貢献したか	
			13,073千円	臨時職員	0.50人	23	23	R元年度目標			R1実績			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
	期間	S60年度~	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①134	24	24	R2年度目標			目標達成済			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
			1.62人	非常勤特別職	②1									事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
			13,465千円	臨時職員	0.50人	③3	24							事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
														事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか